

募 集 要 項

氏 名：近藤隆史	研究室：第 5 研究棟 B01
専攻分野：管理会計・マネジメント・コントロール	
演習テーマ：経営と会計	E-mail：k4769@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

演習テーマは、広く**経営（戦略・組織・マーケティング）と会計**に関するものです。教科書などでは、「管理会計」と呼ばれています。戦略、組織、マーケティングの問題にはたいいてい管理会計が関わっています。会計の中でも、実務に広く関わる実践的な分野の一つです。それらを学ぶために必要となる考え方や課題に取り組む際の基礎を学び身につけてもらいます。

会計は創造性が不可欠の戦略やマーケティングを阻害すると誤解されがちですが、必ずしもそうではありません。例えば、企業の戦略や経営者のビジョンの実現、新製品・サービスの開発、さらには、従業員のモチベーションなども、経営全般に関わるトピックが本演習でのテーマとなります。

本演習では、まずは、皆さんに、経営と会計の基礎を身につけてもらうため、基本的なテキストやケース分析などを交えながら、経営と会計に関わるトピックスを広く扱っていきます。

演習の主な進め方は、教科書的な内容に基づいたレジュメ作成・発表、ケース研究では、個人発表に加えて、グループワークなども取り入れて、実践力の向上に取り組んでいきます。さらに、ケース分析については、皆さんの興味関心から色々な企業を選んでもらい、関連するデータの集計から、様々な経営指標を使った分析が一通りできるようになってもらいます。また、データの分析のためにプログラミングなどの実践も取り入れていきます。こうして仕上がった成果については、（他大学の学生との交流も含め）様々な場でプレゼンテーションの機会が設定されます。

本演習のテーマ学習を通じて、(1)大学での学びに必要な基本的な考え方や論理的な思考にもとづいて、(2)自らの考え・アイデアの創出と効果的なプレゼンテーションする能力・技術を向上させ、そして、(3)最終的には、卒業論文などに向けた、論理的な文書が作成できるようになることを目指しています。

<演習 1>

まずは、レジュメの作成やプレゼンテーション、ディスカッション(グループディスカッションも)を通じて、演習テーマのための基本および方法を学びます。なお、自ら使えるタブレット端末やノート PC などがあると便利です。

<演習 2>

演習 1 をベースにして、演習テーマの経営と会計の基本的な内容と方法を学んでいきます。特に予備知識を必要とはしませんが、演習中にしっかり取り組んでもらえることを期待しています。

<演習3>

演習1/2で習得した内容をもとに、より専門な分野に入っていきます。ケース研究に必要なデータの分析などを通じて、専門分野の実践的な理解を深めいてもらいます。

<演習4>

演習3を継続しながら、例えば、本学部でのゼミ報告大会や他大学の学生交えた報告会（合同ゼミ）などへの参加に向けた活動などに取り組みます。*さらに、意欲のある人は、就活に向けて、いち早く卒論作成にも取り組むこともできます。

<演習5・6>

これまで習得してきた内容をもとに、各自個人の問題意識のもとに、論文の作成を行います。適宜、進捗の確認のために、報告、ディスカッションを全体で行いながら、論文の作成を目指します。

教員からの要望

1. ゼミ活動を優先でき（出席必須）、本演習テーマに好奇心を持って何でも取り組んでくれる学生を期待しています。
2. プログラミングに興味ある学生やデータの分析に興味ある学生も歓迎します。
3. 合同ゼミやゼミ報告大会などに積極的に参加してくれる学生を期待しています。

履修希望科目

演習テーマの説明にもあるように、会計だけでなく、経営学とも深く関係しているので、会計関連の科目だけにこだわらず、経営全般に関心をもっていることが重要です。

教員の自己紹介

会計の中でも管理会計を専門としています。車が好きで、サーキット走行していました。ほか、推理小説も時間があるときは大量に読みます。車や本の好きな人は是非。あと、プログラミングも趣味程度にしていたので、今では、研究にも少し活かして、シミュレーションとかテキストマイニングにも挑戦しています。ゼミでもプログラミングの実践は取り入れたいと思っています。AI やデータ分析（データアナリシス）は、仕事に使えるこれからも重要なツールになると思います。

ゼミ生からの紹介

少人数ですが、みんな仲良くやっています。趣味などに関連付けたり興味あるテーマで演習をすすめることができるのが近藤ゼミのいいところです。興味ある1年生はぜひオープンゼミに参加して下さい！あと、就活のためのSPI対策もしてくれます。